

平成 29 年度 事業報告

【法人運営】

1 理事会

開催日	議題
5 月 20 日	平成 28 年度最終補正予算案が承認されました。 平成 28 年度事業報告及び決算が承認されました。 次期理事及び監事候補者案が承認されました。 役員報酬規程(案) が承認されました。 評議員会の開催日が決定されました。 4 月度 5 月度の理事長報告がありました。
6 月 3 日	川上輝昭理事が理事長に承認されました。 上瀧清理事が業務執行理事に承認されました。
10 月 7 日	6 月度～9 月度の理事長報告がありました。
翌 3 月 24 日	平成 29 年度第 1 次補正予算案が承認されました。 経理規程変更(案) 及び就業規則変更(案)、給与規程変更(案) がそれぞれ提案通り承認されました。 平成 30 年度事業計画案と当初予算案が承認されました。 生活介護事業所の定員 30 名から 34 名に変更された報告がありました。 10 月度～3 月度の理事長報告がありました。

2 評議員会

開催日	議題
6 月 3 日	社会福祉法人改正による役員改選が承認されました。 平成 28 年度事業報告及び決算が承認されました。 理事及び監事の報酬等の額が承認されました。

○監事監査…5 月 12 日(金) 平成 28 年度事業報告及び決算の監査が行われ、適正との報告が行われました。

【生活介護事業運営】

1 平成 29 年度を振り返って

〔日中活動〕

平日の日課として、作業生活を主とした支援を行ないました。

自主製品においては、利用者の方々も積極的に販売・製作に取り組み、区役所等からの注文も増え、受注した際にも、全員一丸となりボランティアの方々や家族会の協力も得て納期に間に合わせる事ができました。しかしながら、衆議院解散総選挙で大量販売のできるイベントが無くなる等イベント販売の機会が減ってしまいました。

下請け作業については、昨年度末に取引を開始したクリップの組立作業が、数名の方に上手く導入でき作業意欲の向上に繋がりました。今年度後半より納期の短縮と治具の数に限りがあるとの事

で供給が止まっていますが、納期に余裕のある時に供給してもらえるような対応になっています。

〔行事〕

徳林寺の販売をスタートとし、随時販売のできるイベント（風まつり・福祉と映画のつどい・顔の見えるアート展・農業センター梅まつり）は積極的に参加しました。天白区福祉区民のつどいとしぜん館まつりが中止となり、利用者の方々も残念がっていました。

5月の障害者スポーツ大会(陸上)では、奈良井 仁さん、昨年11月のボーリング大会にて中山里美さんが代表に選ばれ、10月の全国大会(愛媛)に出場しました。

春のフットベース交流会では久々の優勝を勝ち取ることができました。

秋の県協会のフットベース大会では事務局として職員2名が動く中、5位の成績でした。

ふれあい一泊の旅は昨年同様二班に別れ行なわれました。1回目は晴天の中、榎本施設長(ひまわりの風)がボランティアとして参加していただき、普段口数の少ない利用者も楽しんだ報告をしてくれるほどであった。2回目は道中雨が降ってきたが、夕食の頃には雨も上がり、ほぼスケジュールどおり行なうことができました。

バス旅行は、観光バス1台とハイエースを使い、家族も参加で郡上八幡～牧歌の里～道の駅大和に行きました。3箇所回ることもあり、足早での移動となりましたが、利用者の方々も「待ちきれない」事がなく楽しんでいました。

感謝祭は、例年第1土曜日に行なっておりましたが、今年は金曜日が祝日であったため、準備の関係上金曜日の文化の日に行ないました。その為、ボランティアの集まりが悪く、職員がブースの対応に追われたことで利用者対応が存分にできなかつた事が心残りでした。しかしながら、祝日であったことで、他事業所からの団体での来場者もあり、盛況でした。

新年会は、昨年同様にサンブラザシーズンズにて、全体で100名近い参加者を迎え2時間半の時間を有意義に過ごせました。特に、ボランティアさんに感謝する会では、利用者・職員が力を合わせた寸劇ができ、会場全体が盛り上がりました。新成人の大霜卓馬さんが病欠してしまったのは残念でした。

〔職員体制〕

年度内での入職者2名・退職者3名で、職員の若返りが図られました。昨年度に引き続き、随時外部研修に参加していくことで、スキルアップに力を入れることができました。

〔総括〕

年度初めに入所施設から地域移行としてグループホームを利用することになった1名を迎え、昨年度新卒の3名と合わせて4名の新利用者を含む34名の登録利用者でスタートしました。年度内において、本人主体のサービス利用の観点から保護者や相談支援との連携の下に契約解除・新規契約を行い、2名の契約解除と2名の新規契約を行ないました。

天白区役所及び大根のリサイクルショップでの販売や、各イベントに積極的に参加することで工賃確保に努め、また、地域の一員であることを利用者の方々に伝えてきました。しかしながら、工賃の支給総額が販売と下請け作業の収入を上回ってしまい、家族会からの寄付金に頼るところもありました。

作品展への参加も積極的に行い、2名が表彰を受けることができました。

2 開所状況

開所日数 260日 利用者延べ人数 7,231人 平均利用者数 27.8人 稼働率 92.7%

3 利用者数の変遷 (平成 29 年度末時点)

年度末	25	26	27	28	29
男	13	13	14	14	11
女	16	18	18	19	19
合計	29	31	32	33	30

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	0	6	1	2	2	0	11
女	0	7	2	7	2	1	19
合計	0	13	3	9	4	1	30

平均年齢 36.2 歳

支援区分	3	4	5	6	合計
男	4	4	3	0	11
女	9	8	2	0	19
合計	13	12	5	0	30

平均支援区分 3.7

4 職員体制

平成 30 年 3 月末時点

管理者	常勤・兼務	1名		
サービス管理責任者	常勤・兼務	1名		
生活支援員	常勤・専従	5名	非常勤・専従	2名
看護師			非常勤・専従	1名
事務員(相談員)	常勤・兼務	1名		
医師			嘱託医	1名

5 生産活動(自主製品作りの販売・下請け)

単位：円

内容	28年度	29年度
自主製品売上(クッキー、刺しゅう雑巾他)	1,662,435 円	1,554,587 円
下請け(輸入雑貨検品、バネ検品他)	479,365 円	508,572 円
合計	2,141,800 円	2,063,159 円

※<販売先>

- ・天白区役所(毎週水曜日 10 時~12 時)各種イベント

	28年度	29年度
工賃(30名分)	1,601,080 円	1,608,210 円
一人月平均	4,447 円	4,467 円

6 職員研修 年間を通して一人1回以上は研修に参加

日程	研修名等
6月1日	接遇・マナー研修
6月5日	会計基礎研修Ⅰ
6月15日	タイムマネジメント研修
6月23日	救急救命研修
7月3日	コーチング研修
7月4日	施設見学（いぶき福祉会）研修
7月11日	知的障害研修
7月12日	個別支援計画作成研修
9月7日	保健・衛生研修
9月27日～29日	全国知的障害福祉関係職員研究大会
10月19日	個別支援計画作成研修【フォローアップ】
10月20日	発達障害研修
10月24日	会計基礎研修Ⅱ
11月7日	精神障害研修
11月9～10日	平成29年度基礎研修
11月17日	医療知識研修
11月22日	困難事例対応研修
12月1日	虐待防止研修
12月1日	障害者支援施設部会サービス管理責任者研修
12月13日	予算・決算対策研修
1月12日	救急救命講習
1月18日～19日	名古屋市サービス管理責任者研修
1月17日	口腔ケア研修
1月24日	人材育成研修
1月29日	スポーツ・文化研修
2月2日	口腔ケア研修
2月8日～9日	愛知県障害関係施設職員等研究大会
2月13日	施設長・事務員研修
3月12日	発達障害の理解と対応について
3月14日	日中活動支援部会職員研修会

7 主な行事

○は土曜日の行事の日の内容

月	内 容
4	徳林寺花祭り・スポーツ大会の練習会
5	障害者スポーツ大会(陸上・フライングディスク)参加 事業所間フットベース交流会参加・避難訓練・BBQ(てふてふ)
6	ハートフルナイト(東山動物園)・グループ外出(犬山散策)
7	グループ外出(南知多ビーチランド)・風まつり参加 ふれあい一泊の旅(長野県売木村)
8	ふれあい一泊の旅(長野県売木村)・夏期休業・福祉施設絵画展 防災訓練・あすなろ夏まつり
9	グループ外出(消防署・明石公園)・ バス旅行(郡上八幡～牧歌の里～古今伝授の里やまと) 名フィル鑑賞会に参加・行事の日(カラオケ)
10	イエローレシートキャンペーンに参加(大高イオン) 県フットベース大会に参加・行事の日(芋ほり)
11	てふてふ感謝祭(地域交流)・福祉と映画のつどい(手話コーラス) 障害者スポーツ大会(ボウリング)参加・あけぼの祭り参加 桃山いきいきフェスティバル参加・グループ外出(東別院)
12	忘年会・年末年始休業
1	島田神社へ初詣 イエローレシートキャンペーンに参加(大高イオン) 新年会・成人式・ボランティアさんに感謝する会
2	グループ外出(竹島水族館)・グループ外出(のんほいパーク) 避難訓練・お口の支援 イエローレシートキャンペーン参加(大高イオン)
3	梅まつり参加(農業センター)

【共同生活援助運営】

1 29年度を振り返って

豊が丘の方に5月30日より1名入居、6月5日より4名入居、8月20日より1名入居、体験利用者1名となっています。残念ながら11月末日に於いて1名退去がありました。藤が丘に於いては12月に7名の万床となり、残る居室は豊が丘の3居室となります。

職員体制も大幅に見直し、5名の世話人さん(非常勤)を採用。毎月のシフトが複雑になってきています。

その中で誕生日会や祝日の外出などを実施し、2つの居住場所が一括された行事を行いました。また、ホームですので、健康にかかわる通院等に於いて時間を作るようにしてきました。1名仕事の負荷が強すぎて引きこもっている人に対しても外に出るよう関連機関との調整会議を開催し、促してきました。

職員がどちらも支援に入ることが可能となって隙間の無い充実した運営を行っ

てきました。

2 開所状況 平均稼働率（延べ利用日数/利用可能日数/定員）64%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計人
利用者数	6	7	11	11	12	12	12	12	12	13	13	13	
延べ利用日数	195	191	194	336	300	349	363	348	336	319	314	354	3699
利用可能日数	29	28	30	31	31	30	31	30	29	29	28	31	357

<年齢>

10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計人
1	4	3	4	1	0	13

3 職員体制

管理者(サービス管理責任者兼務)	常勤・兼務	1名		
生活支援員(世話人兼務)	常勤・兼務	2名		
世話人			非常勤	10名

4 職員研修

7月	知的障害研修
8月	障がい者福祉制度研修
9月	全国知的障害関係施設長等会議 障がい者福祉制度研修
12月	発達障害研修
2月	愛知県知的障害関係施設職員等研究大会

5 夜間体制

夜間体制加算・・・常時電話対応、宿直対応は体験利用者に合わせて月1、2回行った。

【短期入所運営】

1 29年度を振り返って

短期入所は、利用者の方がグループホームに変わっていったので、新規利用者を募集しています。2名の新しい人が1月から月4泊程度の利用を継続しています。

2 開所状況 稼働率（延べ利用日数/利用可能日数/定員）83%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計人
利用者数	9	5	5	3	4	3	3	5	3	3	3	4	
延べ利用日数	38	31	39	32	24	17	13	23	19	21	20	20	297
利用可能日数	29	28	30	31	31	30	31	30	29	29	28	31	357

【相談支援事業の経営】

- 1 一般相談支援(定着)事業 H29.8月より相談件数0名となる。

		26年度	27年度	28年度	29年度
主な障害	知的	1	1	2	0
	精神	1	0	0	0
居住区	天白	1	1	2	0
	名東	1	0	0	0

天白区に一人暮らしの知的障害と及び発達障害、双極性障害を持った方（一般就労経験あり）の定着支援は安定してまいりまして7月をもって終了となりました。

- 2 特定計画相談支援事業

平成29年度新規相談件数 5件(合計103件：内 契約解除累計 37件)

主な障害		居住区		利用されるサービス(重複を含む)	
知的	3	天白区	2	生活介護	3
精神	1	昭和区	1	居宅支援	1
身体	1	緑区	1	共同生活	2
		名東区	1	就労支援	2

- 3 職員体制 常勤1名

- 4 職員研修

毎月第3木曜日 天白区機関相談支援センターによる部会に参加

- 5 課題

居宅介護事業所、訪問看護、保健センター、移動支援、就労継続など複数にわたる障害福祉サービスをご利用なさっている方その方を取り巻く関係諸機関での調整会議を行いました。それぞれのご利用時の様子を共有化して課題に対応していきました。日時など開催設定に時間がかかりすぎました。

また、通所のサービスご利用の方が入所施設へ入居されることになり、情報交換を頻繁に行ってくださいました。収入申告など珍しい書類作成も多ありました。

計画を考えてゆく際、より多く情報を集め、より良い計画としてゆきたい。

※ 障害児相談支援事業 相談はまだありません。

